

金沢大学 外科専門研修プログラム

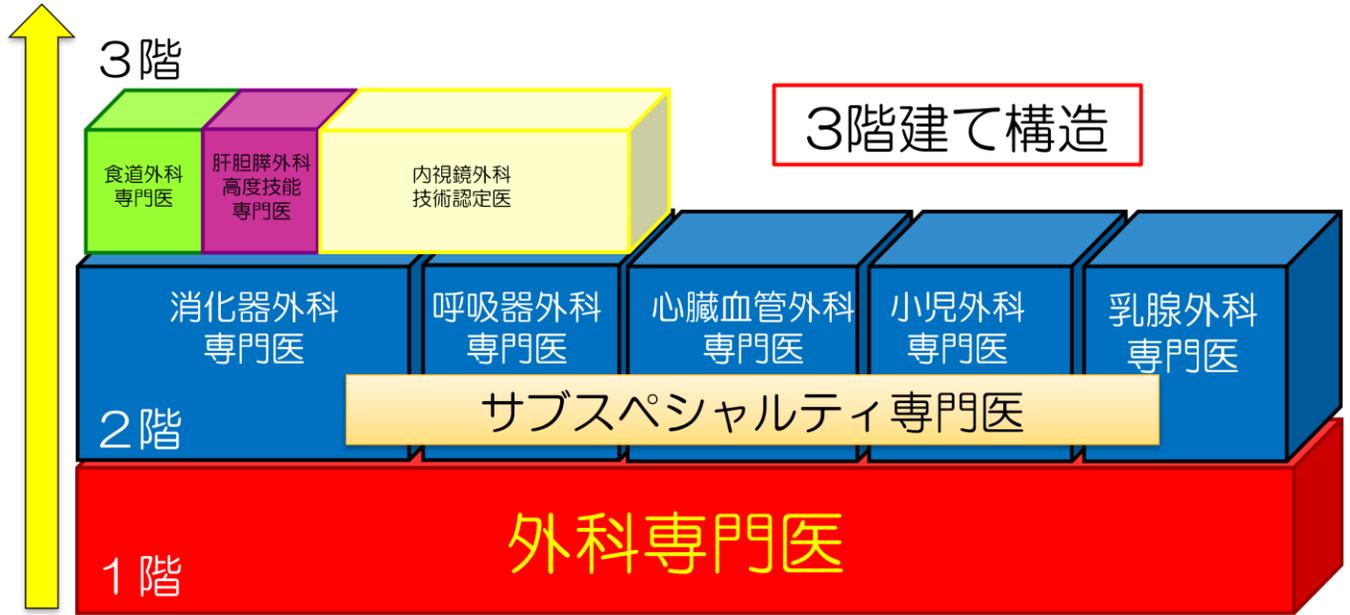


専門研修プログラム統括責任者
副専門研修プログラム統括責任者

松本 勲
八木真太郎・稲木紀幸・飯野賢治

外科領域 専門医制度について

外科領域専門医の構造



外科専門医取得に必要な手術経験

- (1) 350例以上の手術手技を経験
- (2) 術者として120例以上を経験
- (3) 各領域の手術手技または経験の最低症例数
 - ① 消化管および腹部内臓 (50例)
 - ② 乳腺 (10例)
 - ③ 呼吸器 (10例)
 - ④ 心臓・大血管 (10例)
 - ⑤ 末梢血管 (頭蓋内血管を除く) (10例)
 - ⑥ 頭頸部・体表・内分泌外科 (10例)
 - ⑦ 小児外科 (10例)
 - ⑧ 外傷の修練 (10点)
 - ⑨ 上記①～⑦の各分野における内視鏡手術 (10例)

特定の領域に偏ることのない診療経験が必要



金沢大学の外科専門研修

金沢大学 外科修練の流れ

医学類・医学科卒業

臨床研修（2年）

金沢大学の
臨床研修プログラム

他施設の
臨床研修プログラム

外科専門研修（3年）

金沢大学外科専門研修プログラム

外科専門医取得

サブスペシャリティ専門研修

心臓血管外科

呼吸器外科

消化器外科

小児外科

乳腺外科

サブスペシャリティ専門医取得

金沢大学 外科専門研修プログラム

金沢大学 外科専門研修プログラムの特色

第1の特色：外科専門医として必要な**各領域の診療能力を獲得**

領域ごとに経験すべき手術症例数が定められています。

外科の6診療科が一体となって外科の全領域を網羅できるように研修スケジュールを組みます。

第2の特色：希望に応じて**サブスペシャリティ研修を提供**

外科全般の幅広い診療能力を得ながら、サブスペシャリティ専門医の取得を視野に入れた専門特化のスケジュールを組むこともできます。

☆ 研修の進捗状況、地域枠、通勤や家庭の事情（家族との同居、育児、介護など）などを考慮してプログラムを組みます。

☆ サブスペシャリティの選択に悩む場合でも、選択を後押しできるように配慮します。

金沢大学 外科専門研修プログラム

通常プログラム



- ☆ **基幹施設（金沢大学）では、領域別症例と高度医療を経験**
 金沢大学で各外科領域をローテーションし、必要とされる手術や高度医療を経験します。
 1年間で領域別必要症例数をほぼ全て経験できます。
- ☆ **連携施設では、執刀医としてのスキルアップを**
 連携施設では執刀のチャンスが多くあります。
 医師4年目で必要執刀数をクリアできることが大半です。

研修施設群

金沢大学 外科専門研修プログラム

研修施設群 = 基幹施設 + 連携施設

● 基幹施設

金沢大学附属病院

(心臓血管外科, 呼吸器外科, 消化管外科, 肝胆膵・移植外科, 小児外科, 乳腺外科)

● 連携施設 (38施設)

石川県 (20施設)

浅ノ川総合病院	公立能登総合病院
石川県立中央病院	公立松任中央病院
加賀市医療センター	小松市民病院
金沢有松病院	済生会金沢病院
金沢医療センター	城北病院
金沢市立病院	市立輪島病院
金沢赤十字病院	珠洲市総合病院
金沢西病院	芳珠記念病院
恵寿総合病院	KKR北陸病院
公立宇出津総合病院	JCHO金沢病院

富山県 (12施設)

黒部市民病院
 厚生連高岡病院
 厚生連滑川病院
 高岡市民病院
 砺波総合病院
 富山県立中央病院
 富山市民病院
 富山赤十字病院
 富山西総合病院
 富山労災病院
 南砺市民病院
 北陸中央病院

福井県 (3施設)

市立敦賀病院
 福井県済生会病院
 福井県立病院

神奈川県 (3施設)

昭和大学横浜市北部病院
 横浜栄共済病院
 帝京大学附属溝口病院

専門研修指導医数：約160名

- 年間 30 名の専攻医を新規に受け入れることが可能
- 北陸3県を中心に多数の連携施設あり
- 領域やニーズに応じてバリエーション豊富な研修が可能

2025年度～

新しくなった金沢大学の 臨床研修・外科研修

- (1) 自由設計プログラム
- (2) サブスペ重点コース



自由設計プログラム

金沢大学 新しくなった臨床研修

医学類・医学科卒業

臨床研修（2年）

NEW 金沢大学
自由設計プログラム

他施設の
臨床研修プログラム

外科専門研修（3年）

金沢大学外科専門研修プログラム

外科専門医取得

サブスペシャリティ専門研修

心臓血管外科

呼吸器外科

消化器外科

小児外科

乳腺外科

サブスペシャリティ専門医取得

金沢大学 新プログラムとの連動

金沢大学 自由設計プログラム

2025年度から始まった**新しい臨床研修プログラム**です。
必須の研修を網羅すれば、その他は**自由に設計**可能です。



金沢大学 外科専門研修プログラム

上記の自由設計プログラムと連動することによって、
臨床研修～専門研修～サブスペシャルティ研修を
ひとつなぎのプログラムとして提供します。

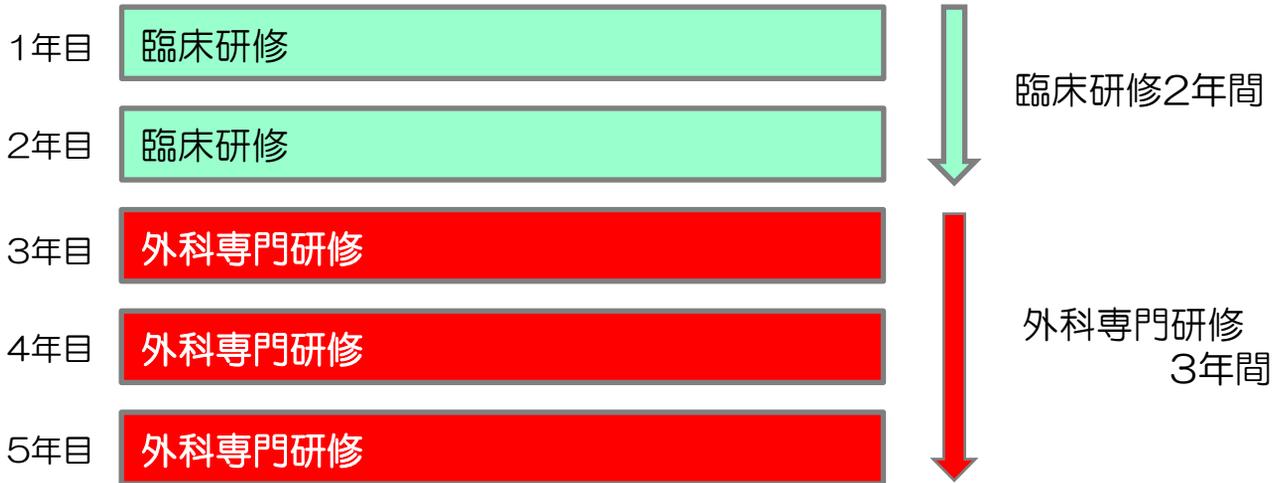
最大のメリットは

“外科研修の先取り”

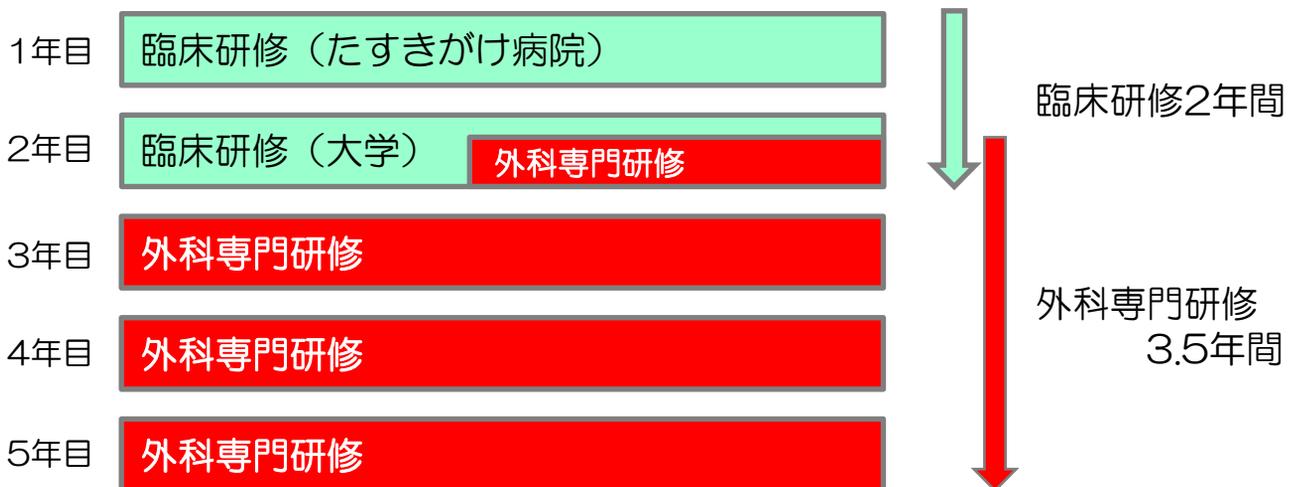
です

金沢大学 外科専門研修の先取り

通常のプログラム



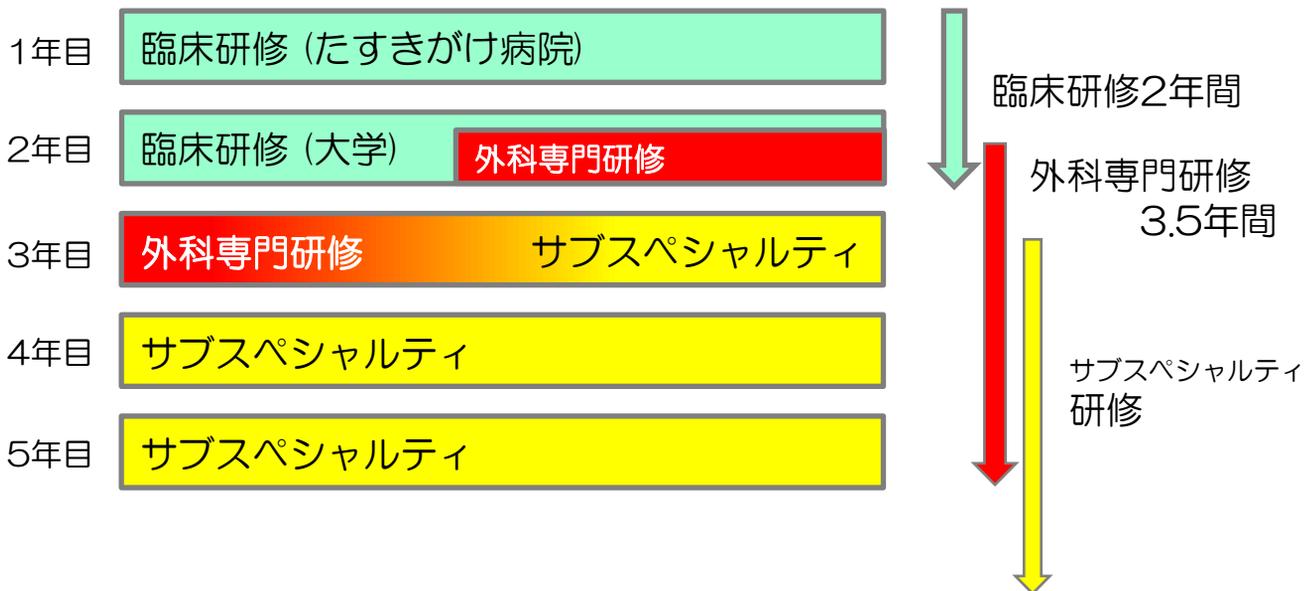
金沢大学の自由設計プログラムを選択した場合



☆ 金沢大学の自由設計プログラムを選択した場合には、臨床研修の一部を外科専門研修とみなすことができます。

金沢大学 サブスペシャルティの先取り

例：自由設計プログラムでサブスペシャルティ研修を先取り



※サブスペシャルティ：心臓血管外科，呼吸器外科，消化器外科，小児外科，乳腺外科のいずれか

☆ 金沢大学の自由設計プログラムを選択することで、
外科専門研修を先取りすることが可能となり，これに伴い
サブスペシャルティ研修も先取りすることができます。

☆ 外科専門医は最短6年目，サブスペシャルティ専門医は
 最短7年目で取得可能です。

サブスペ重点コース

外科 サブスペ重点コースの新設

1年間の回り方は下記の2コースから選択可能となりました。

1. 基本コース：サブスペが決まってないひと

心臓血管

呼吸器

肝胆膵

消化管

小児

乳腺

各診療領域を2ヶ月ずつ

2. サブスペ重点コース：サブスペを（概ね）決めているひと

希望科

希望科を最大6ヶ月

（迷う希望科が2つある場合は4か月ずつ回ることも可能です。）

6診療科すべてをローテートする（1診療科最低1か月以上）

外科専門医試験を受けるために必要な最低経験症例数を得ることができる

消化器（消化管＋肝胆膵） 4か月以上

心臓血管外科/呼吸器外科 1.5か月以上

小児外科/乳腺外科 1か月以上

***ただし、ローテートする診療科の順番は、希望者が重なる場合、事務局で調整することがあります。

金沢大学 外科専門研修プログラム

北陸全体をカバーする外科研修プログラム

豊富な手術症例数と指導医 による充実した研修

多彩な病院群 との連携により **ニーズに合わせた** 研修が可能

金沢大学と連携施設が一体となって専門医を育成します

病院見学をご希望される先生には**随時**対応いたします。
希望の日時、見学内容などをご連絡ください。

専門研修プログラム統括責任者
副専門研修プログラム統括責任者

松本 勲
八木 真太郎
稲木 紀幸
飯野 賢治

お問い合わせ先

➤ 金沢大学附属病院総務課臨床研修係
TEL : 076-265-2058 FAX : 076-234-4362
E-mail : rinsyo@adm.kanazawa-u.ac.jp

➤ プログラム担当者 齋藤大輔
TEL : 076-265-2354 FAX : 076-222-6833
E-mail : kanazawa-surg@med.kanazawa-u.ac.jp